

令和6年度

事業実績報告書

社会福祉法人 睦愛会

緑園都市睦愛園

令和 6 年度 緑園都市睦愛園事業報告概要

令和 6 年度は合計 15 名の退職がありました。

退職者の内訳と致しましては、管理栄養士 1 名、介護職員が 13 名となります。

介護職の不足により特定技能の外国人材 3 名を採用し、派遣職員を雇わずサービスを提供することが出来ました。

課題は介護福祉士有資格者の数が減ってきていることであり、在職職員の資格取得と有資格者の採用を進める必要があります。

職員の流出を可能な限り抑え、職員 1 人ひとりがやりがいを持って働ける環境作りに引き続き取り組んで参ります。

入退所の状況と致しましては、令和 6 年度は 32 名の退所、28 名の入所がありました。

退所後の空床数は合計 1658 で昨年度より 111 減少という結果となりました。入院による空床を含めた年間稼働率は 92.68%という結果となっております。

入退所一進一退の状況が続いておりますが、可能な限り空床数を減少していけるよう取り組んで参ります。

令和 6 年度に「個別機能訓練加算」の取得を開始致しました。現在機能訓練指導員 1 名が日々業務に追われている状況もあり、非常勤職員の採用を視野に入れております。

収支面で金額の大きなものと致しまして「加圧給水ポンプ入替」で 1,980,000 円、「空調自動制御システム導入」で 3,135,500 円、「温冷配膳車入替」で 1,540,000 円などがありました。結果は 17,269,111 円の黒字という結果となりました。

緑 園 都 市 睦 愛 園
施設長 杉本 哲也

令和 5年度実施事業

目 次	頁
1. 振り返り	
(1)介護統括	1
(2)介護	2・3・4
(3)事務・支援相談課・栄養・看護	5
2. 管理部門事業報告	
(1)職員状況	6
(2)実施業務	7
(3)職員の研修(施設外)	8
(4)会議実施状況	9
3. 各事業別報告	
特養・短期入所利用状況	
(1)月別稼働率	10
(2)利用者介護度別状況	11
(3)利用者費用負担別状況	12
(4)事故行政報告状況	13
(5)特養利用者入退所状況	14
(6)利用者年齢別性別状況	15
(7)面会・外出状況	15
(8)介護部門	
(イ)移動・入浴状況	16
(ロ)食事介護状況	16
(ハ)排泄介護状況	17
(9)看護部門 要医療者状況	18
(10)機能訓練部門 訓練状況	19
(11)栄養部門	
(イ)食形態状況	20
(ロ)提案・検討事項	20
(ハ)新しい取り組み	20
(ニ)非常食在庫状況	20
(ホ)行事食一覧表	21

令和6年度 介護統括目標振り返り

1、職員定着について

- ・新卒者採用が1件あったが、カリキュラム通りに進める事が出来、現在も活躍出来ている。
- ・中途採用者の研修は時間を取る事がほとんどできなかった。法定研修に留まっている。外国人の職員に対する研修が課題である。
- ・慰労や交流に関しては、ユニットリーダーを集めての会と他の職員とのレクリエーションが1回のみであった。もう少し増やしていきたい。

2、次世代の教育・指導等

- ・常勤の職員に対しての面談は取り組む事が出来なかった。方法を検討したい。
- ・次を担うであろう人材に対しては、自らが行っている事を説明し、施設運営等の話をした。興味を示しており今後も継続して任せられる部分は任せていきたい。

3、リーダーに対して、施設運営（予算等）を意識した指導等を行うについて

- ・会議等で経費や財源を意識した話等は出来ていると思う。各リーダーもその事には意識が出来てきていると実感している。
- ・ある程度、節電・節水・節約というものも意識が出来ていると感じる。今後は新たに取得した加算を維持することと、新規加算にも着手出来たら良い。
- ・排泄支援加算は取得出来なかったので、7年度取得できるように動いていく。（継続課題）

4、事故防止に努める

- ・見守り機器が導入されてからある程度経過し利用の仕方も大分慣れてきたと感じる。又、居室での事故に関して詳細が分かるようになり事故防止対応策に繋がっていると思う。その他、夜間の巡回も見守り機器での対応が可能になり、職員の負担軽減に繋がっている。
- ・人間違いの誤薬事故が発生した。マニュアルを徹底する事を求めているが発生した。引き続き注意喚起を継続する。それでも目立つようであれば、根本的な対策（システム）を検討する。

5、藤沢睦愛園との交流

- ・藤沢睦愛園との交流を目標に掲げたが、遠慮もありまったく自身では実践できなかった。もっと積極的に交流し情報共有すべきであった。7年度は行動力を持って積極的に交流をしていきたい。

ユニット	リーダー	令和6年度振り返り	目標1	目標2	目標3
			具体的な手立て	具体的な手立て	具体的な手立て
東A-1	中村 嘉恵	職員が少ない中、パート職員の方たちや隣のユニットの職員の人たちに助けられて事故も少なく業務を回すことができた。また、業務を優先することが多くユニットレクなど、ご利用者様に喜んでもらう事が出来なかった。パート職員の負担が多く申し訳なかった、職員のスキルアップを上げられなかった。	レクリエーションの充実	積極的な利用者とのかかわり	情報の共有
			利用者様に喜んでいただけるレクを、各月に担当を決めてみんながかかわりを持てるようなレクを行うようにしていく。	作業中心の仕事内容にするのではなく、かかわっていく中で個人のニーズや性格を発見し介護に生かしていけるようにしていく。仕事に対して積極的に関わるようにしていく。	つい忘れがちな業務の申し送りなどだれに聞かれても、みんなが情報を把握できているように声掛けやメモなどを利用していく。
西A-1	関 謙介	①スマホへの移行は問題なく出来た。スキルアップは今後も継続していく。 ②外出レクは行えず。来年度は行いたい ③コロナになってしまったので残念	スキルアップ	レクリエーションの実施	体調管理
			各々、何か一つでもいいので習得する、又は習得する努力をしていく。資格、技術、OA機器の扱い等	前年度同様引き続き実施していきたい。実施する職員が決まっているので担当を決め、全員でやっていく。外出レクも機会があればやりたい。	感染症対策をしっかりと行い予防に努めていく。体調不良になったら頑張らないで無理だと思ったら遠慮なく休めるようなユニット環境を作っていく。
東B-1	日高 忠勝	①余暇の充実については体操やレクの手伝い、作品作りの手伝いなど不定期ではあるが実施することができた。 ②定期的にクローゼットの整理などをする事により利用者の変化に気付く事はできた。また、話を良く聞く事でその利用者の思いについてもわずかではあるが気付くことができた。 ③定期的に面会に来られているご家族様にはもちろん、家族連絡の際に利用者様の様子を伝えることができた。	余暇の充実	利用者の些細な変化に気付く	ご家族様との情報共有と信頼関係の構築
			個々の利用者のADLに合わせレクだけでなくローソンやその方が好きな物、好きだった物を何か空いた時間に楽しめるようにする。	クローゼット整理や居室内清掃のなかで変わったことがないか、何気ない会話のなかで普段と異なった言動がないかそのサインを見逃さないようにする。	面会や外出も増えてきている中、ご家族様とコミュニケーションをとる機会が増えてきているため、小さなことでも情報共有できるようにする。 ユニットレクや行事イベントを楽しみにされている利用者、ご家族様も多い為、参加された際の様子や写真なども積極的につたえていくようにする。
西B-1	相澤 悦子	この一年間、利用者の入れ替わりが多く、施設お看取りとなった方が多かった。事柄としては良い事ではないが、専門職としてそれぞれの自信や責任感につながったのではないかと感じた。プロとしての成長の一年間だったと前年度に振り返ったが、この一年間もそれぞれの成長が覗え、新入所の方のお迎え・ケアに支障なく当たれたと思う。ご家族へのアプローチで悩んだこともあったが、支援課との情報共有とサポートで解決に繋がった。認知症を有した方が増え、ケアの方法に悩み苦しった。医療課の医療的観点から様々なアドバイスももらった。ご本人の現状とご家族のご希望の食事形態の相違に悩み、栄養課からもサポートとアプローチを依頼した。前年度に掲げた目標の一つである施設運営を学ぶ(知る)事に繋がっていると考え、より一層チーム力の向上に努めたい。	人材育成	施設運営を学ぶ(知る)	
			緑園都市睦愛園に新たな仲間を迎え入れる準備をする。新卒者であれば若くフレッシュで新鮮な気持ちやモチベーションを崩すことなく、ベテラン職員がフォローしていきたい。一人新卒者を受け持ち、この一年間で成長を感じ、このユニットに配属して良かった、また、このユニットで良かったと思ってもらえるよう育成に力を入れたい。育成するにあたってのキャリアや経験値の高い職員が揃っている為、次世代の介護職員育成にフォーカスしたい。	介護職(員)としてそれぞれの経験値は高くキャリアが十分にある。更にプロとしての自覚や自信がつくよう、施設運営について目を向けたい。具体的な事は今は思い浮かばずどうしたら良いかも含め、介護統括や更には施設長の力をお借りし、私たち一人一人が運営を学ぶ。一年間でどこまで学べるかは分からないが、まずは「知る」事。	

ユニット	リーダー	令和6年度振り返り	目標1	目標2	目標3
			具体的な手立て	具体的な手立て	具体的な手立て
東Aー2	宮沼孝志	①整理整頓 不要な物を減らしたり書類を整理して物の在処をすぐに分かるようになった。継続して行えた。 ②職員間の報連相 ・ご利用者の状態の申し送りが出来ていた。 ・サイボウスのメール確認を各自行うように努めて情報把握を行ったが確認していない時も見受けられた。 ③東A2と西A2の御利用者の状態把握 ・ユニット間での情報共有をサイボウズで行った。共有する事で情報把握に努めた。一定の効果があつたと思われる。 ・疑問などがあつた時に質問等がスムーズであつた。	整理整頓 ・居室、フロア、トイレ、浴室と持ち場全ての整理整頓を心掛けて業務の円滑化と清潔を保持する。 ・ユニット職員が意識を持って頂けるように発信等を行う。	職員間の報連相 ・全部署との報連相(受診、処置、家族連絡等)を抜かりなく行つて問題が起こらない様に努める。 ・上記を適切に行う事によりご利用者に迷惑が掛からないケアを心掛ける。	東A2と西A2の御利用者の状態把握 ・夜勤のみ関わるのではなく日中の様子も知っておくようにする。出来れば両方の日中の業務にも入るようにする。 ・ご利用者の様子、対応等は日々変わっていくものなので情報の把握に努める。 ・両ユニット職員が互いにご利用者のケアについて意見交換を行い良いケアと職員の負担軽減に繋げる。 ・対応に変更などがあつた時はしっかりと発信して共有出来るようにする。
		他部署との連携は一定の評価は出来ると思うが、まだ課題もあり来年度も継続し、よりスムーズになるように努める。また、ご利用者様の体調・生活リズムなど変化に気づき後手後手にならず早めに医務・ケアマネに相談し対応出来た。東A2との連携も出来ており、業務も相談しながら行えた。ご利用者様の情報共有も出来ており、お互い改善点などの話し合いも行え良かったと思う。	他部署・ご家族との情報共有。 昨年度に引き続き、他部署・ご家族との情報確認を強化していきたいと思う。ユニット職員だけで行動・判断するのではなく、他部署を巻き込んで業務をする。またご家族に連絡、面会などの時に様子を伝えたりして安心してもらえる環境を作る。	利用者様の変化に気づく。 ユニット職員が1番利用者様に接しているため日々の変化に気づきやすい。ちょっとした違和感を早めにキャッチし、医務やケアマネに相談、報告し事故等を未然に防ぐ。	東A2と西A2の御利用者の状態把握 ・夜勤のみ関わるのではなく日中の様子も知っておくようにする。出来れば両方の日中の業務にも入るようにする。 ・ご利用者の様子、対応等は日々変わっていくものなので情報の把握に努める。 ・両ユニット職員が互いにご利用者のケアについて意見交換を行い良いケアと職員の負担軽減に繋げる。 ・対応に変更などがあつた時はしっかりと発信して共有出来るようにする。
東Bー2	霜枯太郎	今年度も継続してフロアレクを行う事が出来た。準備に時間がかかるレクもあったため、来年度は早めに取り掛かるべきだと思った。情報共有については、歴の長い職員には概ね出来ていると感じたが、申し送りノートや社内メールをチェック出来なかった職員(特に外国籍の職員)もいたため、口頭での説明やその方へのメモをみせてきちんと申し送りをしていないと伝わらないと感じたので、送りのやり方を再確認すべきだと思った。環境整備も概ね達成出来たが、爪が伸びたままになっていたり居室の床がほこりやかぶっていたりと細かい点ではあるが、出来てない点もあった。一人一人が気付いて行動できるよう指示していきたいと感じた。	レクリエーションの充実 5年度からフロアレクを開催。定期的に隣ユニットとの合同レクも行い好評だったので、今年度も開催し、入居者様・職員ともに楽しめるような企画が出来るよう実施する。	・ユニット職員・他部署・家族との情報共有 昨年目標にしていた情報共有を今年度も実施し、他部署にも情報共有が行えるよう、なにかあったら直接話したり、メール等で情報発信することを意識して取り組む。昨年夏から面会が解禁されたため、ご家族にむけての近況報告が誰でも出来るようにする。ユニット職員同士でも意見交換を行う時間を設けるよう努める。	基本的な環境整備 介護経験の長い職員が多いため、初心に戻り基本的な清潔保持や入居者様の身だしなみをきちんと行う。他部署・家族・外部の方等、様々な方がユニットをみて安心できるよう、また入居者様が気持ちよく生活を送る為に努める。
		①情報共有を意識して様々なリスクを回避 ご家族とのコミュニケーションでは、良好な関係性を構築できている。他部署とは、社内メールを用いて円滑な連携がとれていると思う。ユニット内の共有の課題は、外国籍の職員との情報の共有だが、職員同士とても仲が良く、業務の重要事項は直接会話をして伝達合っている。 ②協力体制の構築を！ 自ユニットからの協力依頼について、他部署も含めて柔軟に協力を得られたことは印象的です。日勤が手厚い人員配置の為、必要なユニットへ自発的に協力の申し出が出来たら良いと思う。 ③レクリエーションの充実 月一の実現は叶わなかったが、食べたいもののリクエストを伺ってユニット調理レクを実施し喜ばれている。また、ユニット費を活用し、熱帯魚飼育や観葉植物の充実により、ユニット内が華やかになり好評であった。	情報共有を意識して様々なリスクを回避 面会時や近況報告などのコミュニケーションで、ご家族様との関係性構築。他部署との密な報連相で、スムーズなケアに繋げる。 職員間の情報共有で、ご利用者様への統一されたケアの提供。職員の仕事上の悩みや意見を、共有・改善しやすい環境を整えたい。	協力体制の構築を！ 自ユニットだけでなく、行き来されるご利用者様や他ユニットの連絡メールにも目を通し把握をし、他ユニットとの自然な協力体制に繋がれば良い。 急な欠勤時等、入浴・排泄・見守り等のフォローをスムーズに行いたい。	レクリエーションの充実 ご利用者様の豊かな生活と笑顔の為に！レクリエーションの企画・運営をする。毎月一回はユニットレク企画書が出せると良いと思う。その為に、年間ユニットレク企画をしたい。 また、令和5年度に引き続き、毎月フロアレクを年間計画する。
西Bー2	玉那覇聖子				

ユニット	リーダー	令和6年度振り返り	目標1	目標2	目標3
			具体的な手立て	具体的な手立て	具体的な手立て
東A 3	杉山 大輝	目標達成に向け継続的に取り組む事が出来た。今回の結果に満足することなく来年度はより良い結果を目指していきたいと思う。又、今年は新卒者の受け入れ、障害を持った利用者の受け入れ等々、新しい事に挑戦する機会が多く刺激的な1年間であった。	アクティビティケア	主体的に行動する	
			身体機能の向上、脳の活性化、コミュニケーション促進。手工芸、音楽、体操、散歩、外出等、身体を動かす、気分転換となるレクリエーションを企画、楽しく充実した時間を過ごして頂く。	業務がマンネリ化しないよう、定期的に見直し、考える機会を設ける。 互いの意見を尊重し、話合うだけでなく行動に移す。 不測の自体が起きた際に、フロア全体で話し合えるようになってもらいたい。	
西A 3	野口 雄大	①アクティビティケア ユニット内や共有スペースで一緒に歌を歌ったり、塗り絵を行ったりと楽しい時間を提供する事ができたが レクリエーションをあまり実施する事が出来なかった為、定期的に開催していきたい。 ②情報の共有 利用者様の状態や細かな変化をユニット職員や他部署と、メモやメール、内線等を通じて共有する事ができたが、時折伝達ミスがあったりコミュニケーションがうまく取れていない事があった為、口頭だけではなくメモや用紙などを活用していきたい。 ③生活の充実化 ユニット環境を模様替えや飾りつけ等を行い変える事ができたが、レクなどの企画があまり行えなかった為、定期的に実施していきたい。	アクティビティケア	情報の共有	生活の充実化
			身体機能の向上、脳の活性化、コミュニケーション促進。手工芸、音楽、体操、散歩、外出等、身体を動かす、気分転換となるレクリエーションを企画、楽しく充実した時間を過ごして頂く。	・前年度から継続してサイボウズメールや内線、カンファレンスを通して利用者様の細かな変化もユニット職員や他部署と共有していく ・面会や電話、手紙等でご家族へもこまめに伝えていく	・定期的な生活環境の見直しをしていく ・レクリエーションの企画の種類を増やす ・自ユニットだけではなく、他ユニットとの合同レクも増やしていく
東B 3	柴田 千夏	余暇時間の充実化、身体、心を活性化させることを目的として散歩、体操等の運動やカラオケ、音楽鑑賞等フロア全体、ユニット内で実施、他者との交流、気分転換を図り利用者同士のコミュニケーションを取る事ができ楽しんでいた様子がみられ今後も継続して取り組んでいきたいと思う。 室内イベントが多くなってしまい今後は屋外イベントも取り組んでいきたい。 日々の生活が負担なく過ごされるよう他職種と連携を図り介助方法の見直しや居室のレイアウトの変更等 その場ですぐに話し合いを行いすぐに提供することができた。	アクティビティケア	利用者、職員にとって負担のない安全な介助を行う	
			身体機能の向上、脳の活性化、コミュニケーション促進。手工芸、音楽、体操、散歩、外出等、身体を動かす、気分転換となるレクリエーションを企画、楽しく充実した時間を過ごして頂く。	利用者の年齢の幅があり身体の大きい利用者も増えてきている。用具の使用や2人介助を行う等して誰もがリスクなく介助ができるようにする。介護の負担軽減により利用者とのコミュニケーションを多く取れるよう努め笑顔が多くみられるユニットにしたい。	
西B 3	市村 愛	利用者様のADLが低下した中で、体調急変の早期発見に努めることが出来たと思う。一人一人が自覚を持ち、ケアを行うことが出来たと思うが、自立者への配慮が足りない部分があった。楽しく充実した時間を過ごして頂けるよう、ユニット、フロアで計画を立てて取り組みたい。	アクティビティケア	健康管理に留意して安定した体調管理に努める	
			身体機能の向上、脳の活性化、コミュニケーション促進。手工芸、音楽、体操、散歩、外出等、身体を動かす、気分転換となるレクリエーションを企画、楽しく充実した時間を過ごして頂く。	傾聴力を身につけ、利用者と上手にコミュニケーションをとるようにする。新しく導入された見守り機器を、事故防止や体調急変の早期発見などに活用し安全安心に過ごせるよう努める。	

令和6年度 各部署振り返り

部署名	記入者	令和6年度振り返り
事務	中村 愛	財務・経理部門は昨年に引き続き、エネルギー価格高騰による電気代が最重要問題でした。節電対策委員会での話し合いや昨年から引き続きでの照明等の対策を実施、又空調の制御装置を補助金活用し導入しました。導入したことによって、人為的対応では不足してしまう調整にも対応でき、デマンド値調整も全体を見て制御しているので、確実に効果を上げることが出来ました。 人事労務部門はダブルチェックでの勤怠管理により配置基準の確認も早期に把握することを継続できました。感染症でのクラスター発生時等、人員不足による勤務形態の工夫が必要な際に相談対応とフォローをいたしました。 リスクマネジメントでは、適切な保険加入届をし個人情報保護も徹底いたしました。 防犯・防災は自然災害・感染症BCP(業務継続計画)の座学、シミュレーション訓練を実施いたしました。 経理部門では昨年に引き続き計画的に適正な経理処理を実施いたしました。 庶務部門では関係機関への届出の実施をし、施設ホームページの定期的な更新をし、WEB委員会を中心に今後より良いホームページ展開ができるよう進めました。また、昨年文書のデータ化を大幅に進めたのでその状態を維持できるよう努めました。
支援相談	久木野 麻美	5月よりケアマネジャーが1名入職し、4名体制となりました。入所稼働率を上げる為に今まで関りのなかった精神病院や障がい者施設へ実地調査の範囲を広げました。申し込み者は年々重度化しており、特に重度な認知症の方や医療行為が必要な方が増えていると感じています。核家族化による高齢世帯や単身者も増えており、家族に支援が必要なケースも増え、入所後の課題も多くなってきました。入院者数も増えた印象ですが、退院許可後は担当者以外も対応できるよう、速やかな退院支援に繋げる事ができました。ショートステイでは、長くご利用いただける方、定期的にご利用いただける方が多く、定員3名ながら安定した稼働ができました。支援課としては、施設職員と外部のパイプ役となり、話し合いをしながら課題解決に努めるなど、利用者様やご家族様を中心に皆が同じ方向を向いて残された人生をより充実できるように、心をこめて支援させていただきました。感染の状況をみながら、ご家族と一緒に参加できるレクリエーションなどを企画し信頼関係をしっかりと築いていきたいと思っています。
医務	三上 郁子	2024年4月、7月、12月、2025年3月コロナ、2024年12月インフルエンザと施設内で職員、利用者と感染者が出て、感染対策を実施しました。 感染防止対策は日頃から研修など実施し、職員全員で取り組みました。また、感染症がおきたら、そのままでは終わらず、必ず振り返り、次回に活かせるよう、施設全員で情報共有をして、常に感染対策を見直してきました。 利用者の健康管理を看護師などと協力して実施することにより、利用者の体調不良に早期に気付き、地域の病院と連携をとり、重症になりそうな方は、早々に、病院にて治療して頂くことができました。 感染症委員会では施設内研修を行うとともに、適宜、勉強会などを開催し、施設全体で感染症の理解を深めることができました。今後も、職員の感染症への理解を深める勉強会や研修の実施をおこなっていきます。 感染対策がきちんとできることにより感染拡大を防げるようになってきましたが、隔離期間中のADLの低下や、認知症の進行について課題があります。今後はその点について取り組んでいきたいと思っています。
機能訓練	石川 望	機能訓練指導員として入職して1年が経ちました。病院勤務しか経験がない為、施設との考え方の違いに最初は戸惑いでしたが、他職種の方とコミュニケーションをとることで距離も縮まり、様々なことを相談できる関係になってきました。 個別機能訓練はショートステイ以外の全ての入所者様が対象の為、100名近くの方のお名前、既往歴、ADLの状況を把握することが大変でした。書類もフォーマットがないため1から作成し、全員分の個別機能訓練実施計画書を3ヶ月ごとに作るという作業に追われています。 訓練内容は主に関節可動域訓練、ストレッチ、筋力維持強化、立ち上がり、歩行などを行っており、入所者様全員の車いす用クッションチェックや必要に応じての選定、シーティング・ポジショニング、転倒を繰り返す方の居室内の配置相談なども行っています。動ける方は生活上重要で頻度の高い“立ち上がり”運動を多めに行うようにしました。 入院された方には退院後(特に整形疾患・手術後)の状態に応じ、介入頻度を増やすことで離床とADLupを進めるようにしました。
栄養	渋谷 果世	今年度は栄養士が1名入れ替わり、新体制となりました。栄養士間で担当フロアを振り分けたことで、ミールラウンドではより迅速に対応できるようになり、利用者様一人ひとりに寄り添った栄養介入が可能となりました。 また、昨年度は5回実施した「特別おやつ」を今年度は8回に増やし、食の楽しみの充実に努めました。今年度の「特別おやつ」はご当地おやつを3回、季節のおやつを4回、スイーツバイキングを1回実施しました。季節のおやつには旬の食材を取り入れ、暑い時期には冷たいもの、寒い時期には温かいものを提供するなど、気候に合わせた工夫を行いました。外出の機会が少ない利用者様に食を通じて四季を感じていただけたよう心がけました。 さらに、11月には例年通り嗜好調査を実施し、計59名の利用者様に聞き取りを行いました。その結果、現在の食事の満足度は8割を超えており、多くの利用者様が満足されていることが分かりました。特に食事の量や温度は丁度良いというご意見を多くいただきました。また、握り寿司や混ぜご飯等の特別食もご好評いただきました。一方で食材の硬さについては特に肉とフキが硬いとのことご意見をいただきました。味付けについては「薄い」「もっと美味しくしてほしい」といった声も寄せられたので、今後献立に反映し、より満足度の高い食事提供に努めて参ります。

2. 令和6年度 管理部門事業報告

(1) 緑園都市睦愛園 職員状況

R7.3.31現在

(単位:人)

部 門 ・ 部 署 ・ 職 名			常 勤			非 常 勤			6年度 退職者	6年度 入職者
			男性	女性	計	男性	女性	計		
管理・事務 部門	施 設 長		1	0	1	0	0	0	0	0
	生活相談員		1	2	3	0	0	0	0	1
	介護支援専門員		1	2	3	0	0	0	0	1
	事務	事務員	1	2	3	0	0	0	0	0
施設介護 部門	介 護	介護統括	1	0	40	0	0	30	0	0
		ユニットリーダー	7	5		0	0		1	0
		介護職員	15	12		6	24		13	8
	医 務	看護主任	0	0	2	0	0	8	0	0
		看 護 師	0	2		0	8		0	0
	機能訓練員	理学療法士	0	1	1	0	0	0	0	1
	厨 房	管理栄養士	0	2	2	0	1	1	1	1
	用務・清掃職員		1	0	1	3	1	4	0	0
	管理当直職員		0	0	0	3	0	3	0	0
	合 計		28	28	56	12	34	46	15	11
			102							

(2)実施業務

月	法人関係	防災訓練・点検	保守管理点検(業務委託)	健康管理
R6.4		防災資材点検 自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気)	全職員健康診断
5	理事会	自主点検	電気巡視点検(左草電気) 防災設備点検(ヒラボウ)	
6	評議員会	昼間想定防災訓練 自主点検	電気巡視点検(左草電気) 建築物定期点検(アトリエライヴズ)	
7		自主点検	電気巡視点検(左草電気)	
8		自主点検	電気巡視点検(左草電気)	
9		自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気) 害虫駆除(京王消毒)	入所者健康診断 職員ストレスチェック
10		自主点検	電気巡視点検(左草電気)	職員健康診断(夜勤)
11		自主点検	電気巡視・年次点検(細井電気) 防災設備点検(ヒラボウ) レジオネラ菌検査(ダイワ)	入所者・職員 インフルエンザ予防接種
12		自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視点検(左草電気) 受水槽・貯湯槽点検・清掃(加藤設備)	
R7.1		夜間想定防災訓練 自主点検	電気巡視点検(左草電気)	
2		自主点検	電気巡視点検(左草電気)	
3	理事会・評議員会	自主点検	ELV点検(三菱ビルテクノ) 電気巡視(左草電気) 害虫駆除(京王消毒) 簡易専用水道検査(神奈川県貯水槽協会)	
その他	年間通した実施 点検項目	車椅子清掃・点検		
		エアコン・加湿器清掃		
		水廻りクロムメッキ磨き		
		施設回り清掃 S字道路沿い枝葉の伐採(泉区役所依頼施工と施設施工)		

(3)職員の研修

年月日	研修内容	参加職種	実施主体
R6.5.9	介護事業所向け新人研修	介護	横浜市福祉事業経営社会
R6.7.5	人事採用セミナー	施設長	施設運営研究会
R6.7.26	地域連携のための相互研修	看護師	看護協会
R6.8.23	感染症研修	看護師	泉区福祉保健センター
R6.8.29	地域連携のための相互研修(実習)	看護師	看護協会
R6.9.13	人材育成セミナー	施設長	施設運営研究会
R6.9.27	地域連携のための相互研修(実習)	看護師	看護協会
R6.10.11	BCPシミュレーション研修	介護・事務	横浜市社会福祉協議会
R6.11.13	事務研修会	事務	神奈川県福利協会
R6.11.24	様々な環境での認知症看護を語ろう	看護師	看護協会
R7.3.7	人材育成セミナー	施設長	施設運営研究会

内部研修

R6.6.12	コロナウィルス研修	介護職員	感染・褥瘡予防委員会
R6.6.20	歯科医師研修	全職員	小林歯科
R6.7.3	炊き出し研修	全職員	災害対策委員会
R6.7.16	褥瘡研修	介護職員	molten
R6.8.19	ターミナル研修	介護職員	医務
R6.10.17	酸素ポンベの取り扱い研修	介護職員	医務
R6.10.23	介護の事故防止研修～HAPPYを生むヒヤリハット～	介護職員	事故防止委員会
R6.11.13	インフルエンザウィルス研修	介護職員	感染・褥瘡予防委員会
R6.11.19	拘束を実施するに当たっての流れ	介護職員	拘束防止委員会
R6.11.19	高齢者虐待はなぜ起こるのか、虐待回避の為に	介護職員	虐待防止委員会
R6.11.26	地震研修	全職員	災害対策委員会
R6.12.16	救急車を慌てずに要請するために	介護職員	医務
R7.2.19	コロナ発生時の初動対応	介護職員	感染・褥瘡予防委員会
R7.2.19	倫理及び法令遵守に関する研修	全職員	介護統括
R7.2.26	原因不明の怪我と事故報告	介護職員	事故防止委員会
R7.2.26	介護事故発生時の記録の残し方	介護職員	事故防止委員会
R7.3.4	個人情報及びプライバシー保護に関する研修	全職員	支援相談課
R7.3.5	ターミナル研修	介護職員	医務
R7.3.18	虐待防止研修	介護職員	虐待防止委員会
R7.3.18	身体拘束防止研修	介護職員	拘束防止委員会

(4) 会議実施状況

名称	開催状況	議題	出席職種
代表者会議	月1回	全部門の代表者による運営面を主とした課題、問題整理の検討・伝達・報告・連絡調整	施設長、支援相談課主任、事務主任代理、看護師、介護統括、介護統括副主任、フロアリーダー、管理栄養士
ユニットリーダー会議	年6回(偶数月)	運営面の伝達とユニットの運営についての検討	施設長、介護統括、全ユニットリーダー
フロア会議	年6回(奇数月)	運営面の伝達とユニットの運営についての検討、フロア内運営についての検討	ケアマネ、相談員、フロアリーダー、ユニットリーダー
ケースカンファレンス	月1回／随時	個別処遇計画の立案及び検討	施設長、ケアマネ、相談員、看護師、管理栄養士、介護統括、担当介護職員、利用者御家族
入退所判定会議	月1回／随時	入所待機者及び退所者についての判定	施設長、ケアマネ、相談員、介護統括、管理栄養士、看護師
ケアカンファレンス	月1回	直接処遇及び業務全般に関する	介護統括、
ミニケアカンファレンス	日1回	検討・伝達	当日出勤職員
医務会議	随時	看護業務に関する検討	看護師
厨房会議	随時	業務全般に関する検討・伝達	管理栄養士、調理員
献立会議	随時	献立の確認と代替食等の検討	
各委員会会議	月1回	感染褥瘡・事故防止・身体拘束・快食委員会において各議題の検討	管理栄養士、ケアマネ、相談員、看護師、介護統括、介護職員、事務員
労働安全衛生会議	月1回	環境整備及び衛生管理に関する検討	施設長、産業医、衛生管理者、ケアマネ、相談員、事務員、看護師、管理栄養士、介護統括
災害対策会議	年6回(隔月)	防災計画策定 避難計画策定と訓練実施(年2回) 備蓄品管理・地域連携	施設長、防火防災管理者、介護統括、ユニットリーダー、管理栄養士、ヤマト食品、相談員、管理当直者

2. 事業別報告

(1) 月別稼働率

①介護老人福祉施設（定員117名）

月	利用実人員	利用延数	空床延数			稼働率
			入院	外泊	退所後	
4	111	3170	143	1	196	90.30
5	111	3276	126	0	171	90.30
6	113	3183	97	1	207	90.70
7	111	3212	157	0	258	88.60
8	115	3415	63	3	107	94.20
9	115	3281	162	3	41	93.50
10	113	3451	63	1	97	95.10
11	117	3326	92	0	92	94.80
12	113	3412	88	4	123	94.10
1	114	3375	110	1	156	93.10
2	114	3088	61	4	95	94.30
3	114	3380	114	0	115	93.20
計	1361	39569	1276	18	1658	92.68

②(介護予防)短期入所生活介護(定員3名)

月	利用実人員	利用延数	稼働率
4	5	51	57.00
5	7	36	39.00
6	2	11	12.00
7	8	46	49.00
8	6	41	44.00
9	8	80	89.00
10	6	76	82.00
11	5	90	100.00
12	5	75	81.00
1	3	58	62.00
2	6	80	95.00
3	6	51	55.00
計	67	695	63.75

月	送迎延数
4	6
5	7
6	2
7	13
8	8
9	9
10	5
11	4
12	5
1	3
2	8
3	6
計	76

(2) 利用者要介護度状況

①介護老人福祉施設（月末実人員）

月	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均
4	2	19	50	22	18	3.3
5	2	19	47	25	18	3.3
6	2	20	47	26	18	3.3
7	2	20	43	29	17	3.3
8	4	20	43	29	19	3.3
9	4	21	43	29	18	3.3
10	4	21	43	29	16	3.3
11	4	23	43	31	16	3.2
12	4	22	44	29	14	3.2
1	4	23	45	28	14	3.2
2	4	24	45	27	14	3.2
3	4	24	45	28	13	3.2

②(介護予防)短期入所生活介護（各月利用実人員）

月	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均	支援 1	支援 2
4	0	2	1	1	0	2.3	0	1
5	1	1	3	1	0	2.5	0	1
6	0	0	2	0	0	3	0	0
7	0	2	4	1	0	2.7	1	0
8	1	1	3	1	0	3	0	0
9	2	2	4	0	0	2.3	0	0
10	0	3	3	0	0	2.4	0	0
11	0	3	1	1	0	2.4	0	0
12	0	4	1	0	0	2.4	0	0
1	0	1	2	0	0	2.7	0	0
2	0	3	3	0	0	2.5	0	0
3	0	4	2	0	0	2.7	0	0

(3) 利用者費用負担別状況

①介護老人福祉施設（定員117名）

月	第1(生保)	第 2	第3①	第3②	第 4	計
4	1	13	5	42	50	111
5	1	14	5	41	50	111
6	1	14	5	43	50	113
7	1	14	6	41	49	111
8	1	11	9	37	57	115
9	1	11	10	36	57	115
10	1	12	10	36	54	113
11	1	13	11	37	55	117
12	1	12	11	37	52	113
1	1	12	12	37	52	114
2	1	12	14	36	51	114
3	1	12	14	36	51	114

②(介護予防)短期入所生活介護(定員3名)

月	第1(生保)	第 2	第3①	第3②	第 4	計
4	0	1	1	0	3	5
5	0	1	0	0	6	7
6	0	1	0	0	1	2
7	0	1	0	0	7	8
8	0	1	1	0	4	6
9	0	2	1	0	5	8
10	0	2	0	1	3	6
11	0	2	0	1	2	5
12	0	2	0	1	2	5
1	0	1	0	2	0	3
2	0	1	0	1	4	6
3	0	1	0	0	5	6

(4) 事故行政報告状況

月／種別	骨折・ヒビ	打撲等	切傷等	誤嚥	感染症	誤薬	その他	合計
4	1	1	1	0	0	1	0	4
5	1	0	0	0	0	0	1 異食	2
6	1	1	1	0	0	0	0	3
7	1	4	2	1	0	1	0	9
8	0	0	1	1	0	0	0	2
9	0	0	0	0	0	1	0	1
10	0	3	0	1	0	1	0	5
11	1	4	0	0	0	0	0	5
12	2	2	3	0	0	2	0	9
1	1	2	0	0	0	2	0	5
2	0	1	2	0	0	2	1 パルン抜去	6
3	2	1	1	0	0	2	0	6
合計	10	19	11	3	0	12		

骨折事故状況

性別	年齢	骨折部位	経緯	経過
女	84歳	左大腿骨転子部	7:00頃居室内より大きな音が聞こえた為職員がかけつけると床に倒れている所を発見。痛みが強く受診となった。	入院し手術した。
女	94歳	座骨ヒビ	5:30頃ベッドに座って着替えている所を確認。職員がその場を離れ他利用者介助し5:40頃様子を見に居室へ伺った所床に倒れていた。	受診し鎮痛剤処方される。
女	90歳	右ひじ	6:00頃居室内センサー鳴動したと同時に「助けてー」と声が聞こえた為職員がかけつけるとあお向けで床に倒れている所を発見する。右腕が痛いと話があり受診となった。	受診し三角巾で固定。受診後痛みは治まっている。
男	90歳	左大腿骨転子部	20:00居間で妻と一緒にテレビを観ている所を確認。21:30頃「痛い！何してんの！」という声が聞こえ職員が居室へ伺うと床に倒れている所を発見した。左足に痛みが強く受診となった。	入院し手術した。
女	87歳	右大腿骨	6:20頃自立歩行でトイレへ向かい、トイレ内から物音がしたが職員がすぐ伺えなかった。6:25頃職員がトイレへ様子を見に行くと思座に座っていた。6:40居室へ戻り臥床。9:00頃職員が居室へ伺うと枕に出血痕を発見。右足に痛み訴えあり受診となった。	入院し手術した。
女	91歳	恥骨、座骨	17:05頃居室内で大きな物音がした為職員がかけつけると、窓付近床に座り込んでいる所を発見する。しりもちをついたと本人より話があり痛みがあった為受診となった。	鎮痛剤、湿布処方される。
女	94歳	右鼻	10時頃オムツ交換を行い、車いすに乗った状態のまま職員がその場を離れた。10:35他利用者より知らせを受け居室へ様子を見に行くと思車いすから転落し床に倒れている所を発見。鼻血が止まらない為救急車要請した。	止血剤点滴し施設に戻る。
女	95歳	左上腕	5:40頃左腕に痛み訴えあり痛みの部位を確認すると赤く腫れあがっており、広範囲のアザを発見。9:00受診となった。前日夜職員がオムツ交換の際、腕を押さえている様子が見守りカメラに残っていた。	入院し手術した。
女	83歳	第12胸椎、第一腰椎	10:30頃リビングから居室へ向かう途中歩行器の車輪がテーブルにぶつかり、バランスを崩して転倒。しりもちをついた勢いで後頭部を床に打つ。痛みがあり受診となった。	安静にするようにと医師より話があり施設に戻る。
男	87歳	右足指	9:30頃トイレから居室へ向かって歩行している際右足を引きずっていた為足を確認すると指が腫れあがっていた。痛みがある為受診となった。ぶつけてもなし転んでもないと本人より話あり原因不明。	右足底シーネ固定し施設に戻る。

(5) 利用者入退所状況

退所状況					入所状況				
	年齢	理由	関連機関	介護度		年齢	理由	関連機関	介護度
4月	94	GH転居①	グループホーム	3	4月	80	本入所①	GH	5
4月	90	死亡②	緑園都市睦愛園	2	5月	93	本入所②	在宅	2
4月	85	入院継続③	病院	3	5月	93	本入所③	老健	4
5月	94	死亡④	病院	3	5月	92	本入所④	老健	3
5月	87	入院継続⑤	病院	5	6月	92	本入所⑤	在宅	4
6月	89	有料転居⑥	有料ホーム	5	6月	91	本入所⑥	病院	2
6月	89	入院継続⑦	病院	5	7月	99	本入所⑦	老健	3
6月	103	死亡⑧	緑園都市睦愛園	3	7月	85	本入所⑧	病院	3
6月	100	死亡⑨	緑園都市睦愛園	3	7月	97	本入所⑨	在宅	4
6月	97	死亡⑩	緑園都市睦愛園	3	7月	55	本入所⑩	病院	1
6月	94	死亡⑪	病院	4	7月	85	本入所⑪	有料	4
7月	93	入院継続⑫	病院	3	7月	90	本入所⑫	老健	1
7月	106	死亡⑬	緑園都市睦愛園	3	8月	85	本入所⑬	在宅	5
7月	91	入院継続⑭	病院	3	8月	92	本入所⑭	在宅	3
8月	101	死亡⑮	緑園都市睦愛園	5	8月	93	本入所⑮	在宅	3
10月	90	死亡⑯	緑園都市睦愛園	4	8月	92	本入所⑯	在宅	2
10月	93	入院継続⑰	病院	5	9月	96	本入所⑰	サ高住	4
10月	80	入院継続⑱	病院	5	11月	92	本入所⑱	在宅	4
10月	92	入院継続⑲	病院	5	11月	81	本入所⑲	在宅	4
11月	97	死亡⑳	緑園都市睦愛園	5	11月	73	本入所㉑	有料	3
11月	90	死亡㉒	緑園都市睦愛園	4	11月	88	本入所㉒	在宅	3
11月	94	死亡㉓	緑園都市睦愛園	2	1月	87	本入所㉓	サ高住	2
12月	96	入院継続㉔	病院	4	1月	88	本入所㉔	在宅	1
12月	90	死亡㉕	緑園都市睦愛園	4	2月	80	本入所㉕	老健	3
1月	99	死亡㉖	緑園都市睦愛園	3	2月	91	本入所㉖	在宅	4
1月	85	死亡㉗	病院	4	2月	94	本入所㉗	病院	4
1月	96	死亡㉘	病院	3	2月	91	本入所㉘	老健	3
3月	88	死亡㉙	病院	5	3月	89	本入所㉙	老健	4
3月	100	死亡㉚	緑園都市睦愛園	2					
3月	98	死亡㉛	緑園都市睦愛園	3					
3月	88	入院継続㉜	病院	4					
3月	91	死亡㉝	緑園都市睦愛園	2					

(5) 利用者年齢別性別状況

①介護老人福祉施設(年度末現在)

年齢	男	女	計	備考
100歳以上	1	2	3	最高齢103歳
90～99歳	7	61	68	
80～89歳	11	22	33	
70～79歳	5	3	8	
55～69歳	0	2	2	最年少55歳
計	24	90	114	

②(介護予防)短期入所生活介護

年齢	男	女	計	備考
100歳以上	1	0	1	最高齢100歳
90～99歳	4	7	11	
80～89歳	5	6	11	
70～79歳	0	1	1	
50～69歳	1	0	1	最年少65歳
計	11	14	25	

(6) 面会・外出 状況

月	面会	備考	外出
4	105	予約制。最大1時間以内。人数制限なし。年齢制限なし。	外食、散歩等
5	105	〃	〃
6	90	〃	〃
7	81	〃	〃
8	98	〃	〃
9	51	〃	〃
10	90	〃	〃
11	82	〃	〃
12	109	〃	〃
1	109	〃	〃
2	96	〃	〃
3	96	〃	〃

(8) 介護部門

(イ) 移動・入浴状況

①介護老人福祉施設（年度末現在）

ユニット	自立歩杖	歩行器	車 椅 子			個浴	中間浴	特浴
			自操	ティルト	フルリク			
東A-1	0	1	6	3	0	3	0	7
西A-1	0	1	9	0	0	5	0	5
東B-1	2	0	5	0	0	7	0	0
西B-1	2	4	3	0	0	7	2	0
東A-2	2	0	7	1	0	5	1	4
西A-2	1	0	8	0	1	4	0	6
東B-2	1	0	6	3	0	5	0	5
西B-2	1	0	6	0	1	3	0	5
東A-3	1	0	5	3	0	0	4	5
西A-3	0	1	6	3	0	4	1	5
東B-3	3	0	4	2	1	4	2	4
西B-3	1	2	3	2	0	4	0	4
計	14	9	68	17	3	51	10	50

②(介護予防)短期入所生活介護（年度内実人員）

ユニット	自立歩杖	歩行器	車 椅 子			個浴	中間浴	特浴
			自操	ティルト	フルリク			
東B-1	15	0	11	0	0	26	0	0

(ロ) 食事介護状況

①介護老人福祉施設（年度末現在）

ユニット	自立	一部介助	全介助
東A-1	9	0	1
西A-1	8	1	1
東B-1	7	0	0
西B-1	7	2	0
東A-2	5	4	1
西A-2	7	2	1
東B-2	5	3	2
西B-2	4	2	2
東A-3	5	2	2
西A-3	7	0	3
東B-3	8	0	2
西B-3	5	0	3
計	77	16	18

②(介護予防)短期入所生活介護（年度内実人員）

ユニット	自立	一部介助	全介助
東B-1	19	7	0

(ハ)排泄介護状況

①介護老人福祉施設（年度末現在）

ユニット	トイレ使用	ポータブルトイレ・尿器		パッド使用	おむつ使用
		昼夜	夜のみ		
東A-1	5	1	0	10	5
西A-1	5	1	0	10	5
東B-1	7	0	0	6	0
西B-1	9	0	1	8	0
東A-2	6	1	1	10	3
西A-2	9	1	1	10	5
東B-2	6	0	0	10	4
西B-2	5	1	1	8	3
東A-3	4	0	0	9	5
西A-3	9	1	1	10	2
東B-3	7	0	0	9	5
西B-3	5	1	0	7	3
計	77	7	5	107	40

②(介護予防)短期入所生活介護（年度内実人員）

ユニット	トイレ使用	ポータブルトイレ・尿器		パッド使用	おむつ使用
		昼夜	夜のみ		
東B-1	23	0	0	19	3

(9)看護部門

要医療者実人員

看護師による主な処置	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①痰の吸引	2	2	3	2	5	2	1	2	2	4	3	3
②在宅酸素療法	3	3	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0
③酸素吸入	0	1	3	1	2	2	0	0	1	1	1	1
④経管栄養	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1
⑤胃瘻処置	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1
⑥腔錠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦座薬・浣腸	7	13	12	12	19	14	14	13	24	18	14	15
⑧膀胱洗浄	4	4	4	4	4	4	4	4	5	3	4	3
⑨バルカテール管理	7	7	9	10	8	8	8	8	8	7	7	6
⑩神経系テープ	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1
⑪呼吸器系テープ	3	3	3	4	5	5	4	4	4	4	4	4
⑫心臓系テープ	4	4	5	3	3	3	3	3	3	3	1	1
⑬認知症パッチ	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2
⑭泌尿器系パッチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮軟膏塗布	34	27	31	35	37	38	31	27	33	35	33	24
⑯創処置	18	18	22	13	18	14	14	17	21	21	16	11
⑰褥瘡処置	11	6	6	7	11	8	13	15	18	11	10	10
⑱点耳	2	2	3	1	1	1	1	0	2	1	0	0
⑲採血	28	21	22	27	26	83	0	0	28	24	30	28
⑳心電図	27	21	2	17	26	83	0	0	28	23	28	26
㉑湿布	1	2	1	1	0	1	2	1	1	1	0	1
㉒ヘモ系座薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
㉓眼軟膏	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0
㉔人工肛門処置	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0
㉕弾性包帯巻き替え	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	2
㉖創傷ステリテーピング	2	2	1	2	4	2	3	3	0	0	1	2
㉗膀胱瘻処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
㉘骨折部シーネ固定処置	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1

(11)機能訓練部門

訓練内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①関節可動域訓練※	85	114	104	100	103	84	60	74	57	60	74	78
②筋力維持・強化	55	71	56	51	55	48	49	50	53	55	57	46
③立ち上がり訓練	49	80	56	51	71	42	47	50	55	63	71	65
④歩行訓練※	12	43	43	41	61	28	28	29	28	33	37	42
⑤車椅子自走訓練	11	3	8	10	9	5	13	9	6	6	4	6
⑥移乗訓練	4	4	4	9	6	9	2	16	8	16	17	15
⑦ポジショニング※	7	2	19	22	20	21	14	18	14	16	23	28
⑧体操※	0	3	3	2	1	10	7	14	2	3	8	0
⑨その他※	3	3	4	3	9	1	10	8	6	5	12	9
介入延べ人数	90	137	141	154	175	136	116	148	126	138	158	156

※

①ストレッチを含む

④散歩含む

⑦シーティングを含む

⑧自主トレ・脳トレ・嚥下体操を含む

⑨寝返り・起居動作・端坐位・床からの立ち上がり・トイレ動作・入浴動作・コルセット装着練習
眼鏡装着・バランス・書字・靴選定・クッション選定・食事介助など

(10) 栄養部門

(イ) 食形態状況

主食	令和6年度	副食	令和6年度
米飯	32.9 %	常菜	24.7 %
おにぎり	2.5 %	一口大	18.0 %
軟飯	11.8 %	刻み食	24.6 %
全粥	29.7 %	極刻食	18.6 %
ミキサー粥	3.3 %	ソフト食	6.9 %
パン	6.4 %	ミキサー食	7.2 %
パン粥	8.5 %	補助食品	5.3 %
補助食品	4.9 %		

(ロ) 提案、検討事項

利用者・家族・CWからの要望、提案事項の取り組み

要望・提案	取り組み
おやつゼリーの容器が片手麻痺の利用者様が食べにくい。	栄養課で滑り止めマットを用意した。
お茶ゼリー、パン粥、パン粥ミキサーが緩い事がある。	気になることがあればその場で栄養士に連絡。 不在の場合は厨房に連絡するよう周知。
ソフト食に離水が見られた。	1/2量提供の場合や、提供から喫食まで時間が空くと離水しやすい。 離水した場合はユニットでトロミを付けて対応する。
イオンゼリーが固かった。	ヤマト食品にゼリーを作る際の分量を再度確認、調理師に周知するよう伝えた。
ソフト食の煮豆が固かった。	当日の状態について分かるものがないかった。再度気になる時にはその場で栄養士に連絡、不在の場合は厨房に連絡するようにした。また、特定の利用者様に対して提供が難しいと判断される硬さの場合は禁食で対応する。

(ハ) 特別おやつ実績

	実施内容
4月	ご当地おやつ ～京都府～ 京ばあむ、ハッ橋、やわらか羊羹
5月	スイーツバイキング ケーキ4種、カップデザート3種
6月	ご当地おやつ ～北海道～ 夕張メロンゼリー
8月	季節のおやつ ～夏～ ハーゲンダッツ
11月	季節のおやつ ～秋～ マロンケーキ、パンプキンタルト モンブラン風カップデザート
1月	季節のおやつ ～冬～ たい焼き、安納芋プリン
2月	ご当地おやつ ～山梨県～ シャインマスカットブッセ、 桔梗信玄生プリン
3月	季節のおやつ ～春～ かまくらカスター(いちご)、 レアーストロベリーケーキ

(ニ) 非常食在庫状況

非常食＝(利用者120人分＋職員60人分)×3日分

食品名	数量	内容量
水	150 C/S	1C/S＝2ℓ×6本
白米	15 C/S	1C/S＝200g×36
白粥	9 C/S	1C/S＝50人分
パン缶	6 C/S	1C/S＝100g×24缶
けんちん汁	4 C/S	1C/S＝15食×2
味噌汁	2 C/S	1C/S＝12本
ポタージュ	3 P	1P＝1kg
黄桃缶	3 C/S	1C/S＝24缶
みかん缶	5 C/S	1C/S＝24缶
白桃缶	3 C/S	1C/S＝24缶
とりそぼろ缶	5 C/S	1C/S＝24缶
鯖の水煮	4 C/S	1C/S＝24缶
鯖の味噌煮	4 C/S	1C/S＝24缶
鶏ささみ缶	8 C/S	1C/S＝24缶
カレーライス	12 C/S	1C/S＝170g×10×3
ハヤシライス	6 C/S	1C/S＝200g×10×6

※ランニングストック＝米、生野菜、缶詰、惣菜、冷野菜、乾物
(委託側も含む) 栄養補助食品、アクアソリタゼリー

(木) 令和6年度行事食一覧表

	行事	献立名	季節のおやつ
4月	握り寿司	握り寿司(マグロ、サーモン、ハマチ、穴子、海老、厚焼玉子、ネギトロ)、茶碗蒸し、お吸い物	
5月	端午の節句	彩りちらし寿司、お吸い物、三角しのだの炊き合わせ、煮豆	旬の果物(キウイ・いちご)
6月	夏越ご飯	夏越ご飯、お吸い物、彩りしんじょうの炊き合わせ、煮豆	
7月	むつみ焼きイベント		七夕ゼリー
	七夕	七夕そうめん、野菜のかき揚げ、冬瓜の冷やし鉢	
	土用の丑の日	うな井、お吸い物、胡瓜の酢の物、茶わん蒸し、メロン	
8月			旬の果物 (すいか・メロン)
9月	敬老の日(祝膳)	お赤飯、お吸い物、天麩羅の盛り合わせ、高野豆腐の炊き合わせ、ほうれん草の錦糸和え、茶わん蒸し	ねりきり
	夏祭り	焼きそば、サンドイッチセット(ハム・玉子・ツナ)、お赤飯&いなり寿司、えびピラフ、カレーコロッケ、牛肉コロッケ、エビフライ、白身フライ&ポテトフライ、ハムカツ、小籠包、あんまん&肉まん、焼き鳥、きゅうりの浅漬、コーンポタージュ、シフォンケーキ(プレーン・抹茶・ココア)、チョコバナナ、あんみつ	
10月	握り寿司	握り寿司(マグロ、サーモン、ハマチ、穴子、海老、厚焼玉子、ネギトロ)、茶碗蒸し、お吸い物	かぼちゃシフォンモンブラン風 旬の果物(柿・梨)
11月	握り寿司	握り寿司(マグロ、サーモン、ハマチ、穴子、海老、厚焼玉子、ネギトロ)、茶碗蒸し、お吸い物	
12月	クリスマス・イブ	えびピラフ、スープ、もみの木ハンバーグ、黄桃缶	ブッシュ・ド・ノエル
	クリスマス	バターライス、ミネストローネ、タンドリーチキン、花野菜サラダ、フルーツポンチ	
	お餅つき		
	年越しそば	年越しそば、春菊のごま味噌和え、みかん	
1月	元旦	お赤飯、お雑煮、赤魚の塩焼き、蒲鉾、煮め、黒豆、数の子、栗きんとん、伊達巻、菜の花にしん、みかん	旬の果物 (りんご・いちご)
	2日	海鮮ちらし、お吸い物、松風焼き、炊き合わせ	
	3日	ご飯、お吸い物、天麩羅盛り合わせ、冬瓜の白煮、紅白なます	
	七草粥	青菜粥、紅生姜天の煮物、玉ねぎのゆかり和え、牛乳	
	小正月	小豆粥、ソーセージ天の煮物、小松菜のポン酢和え、牛乳	
2月	節分	五目ちらし寿司、つみれ汁、大豆の煮物、菜の花のゆず和え	チョコババロア 豆腐生チョコ
	握り寿司	握り寿司(マグロ、サーモン、ハマチ、穴子、海老、厚焼玉子、ネギトロ)、茶碗蒸し、お吸い物	
3月	ひな祭り	桜ちらし寿司、若竹汁、三角しのだの炊き合わせ、青菜のごま味噌和え	桃まんじゅう
	桜餅レク		

R6年11月 嗜好調査結果

緑園都市睦愛園栄養課

1

◆目的：ご利用者様の要望や嗜好、現在のお食事の満足度を把握し、今後の献立や調理方法等に反映して、食事に対する満足度を向上させることを目的とする。

◆期間：令和6年11月11日（月）～令和6年11月22日（金）

◆対象者：・特別養護老人ホーム入所者 115名（11月22日時点）のうち、聞き取り可能であった方 **64名**
⇒対象者率 **55.7%（64/115）**
・期間中のショートステイ利用者 **3名**
・職員食を注文している職員 **11名**

◆方法：利用者は栄養士による聞き取りアンケート
※聞き取り時間は12時～13時
職員は自身でアンケート用紙を記入

2

【回収状況】

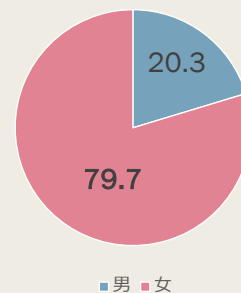
		人数 (人)	回収率 (%)
利用者	対象数	64	92.2
	回収数	59	
職員	対象数	11	90.9
	回収数	10	

3

【回答者の基礎データ（ご利用者）】

◆性別

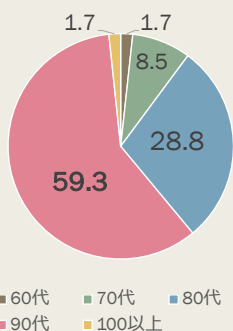
	人数 (人)	割合 (%)
男	12	20.3
女	47	79.7



4

◆年齢

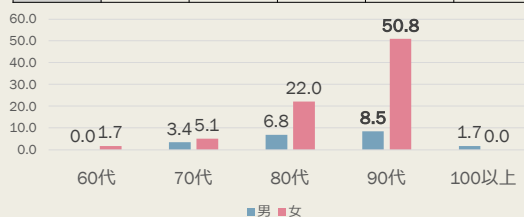
	人数 (人)	割合 (%)
60代	1	1.7
70代	5	8.5
80代	17	28.8
90代	35	59.3
100以上	1	1.7



5

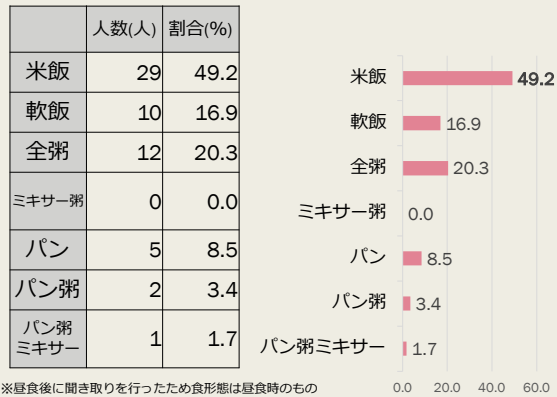
◆年齢別男女比

割合(%)	60代	70代	80代	90代	100以上
男	0.0	3.4	6.8	8.5	1.7
女	1.7	5.1	22.0	50.8	0.0
合計	1.7	8.5	28.8	59.3	1.7



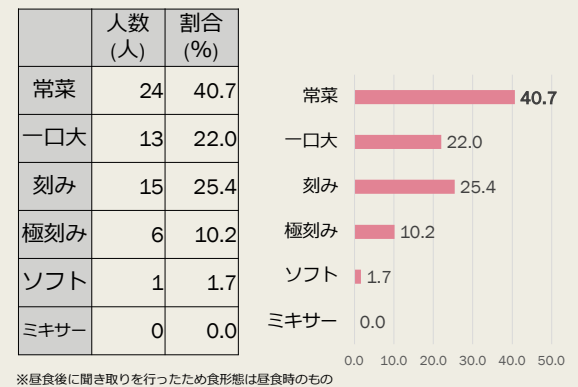
6

◆主食の食形態



7

◆副食の食形態



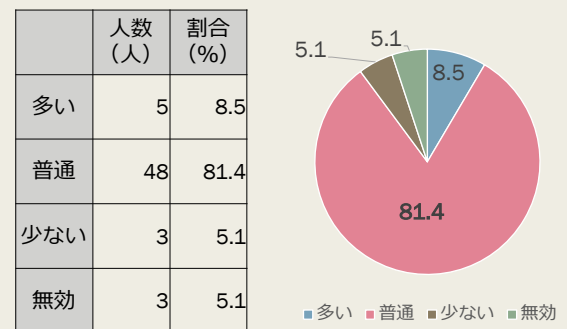
8

【ご利用者様 結果】

9

問1 食事についてお尋ねします。

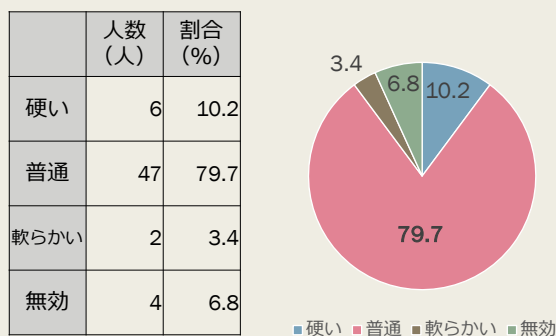
ア：量はいかがですか？



10

問1 食事についてお尋ねします。

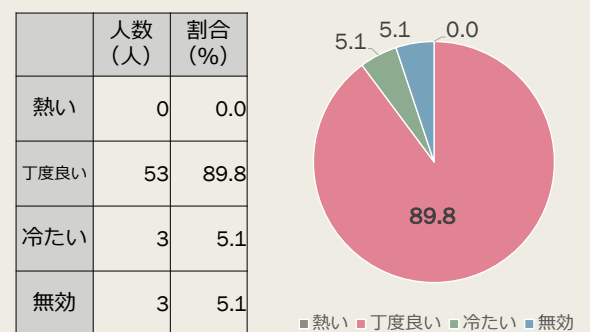
イ：硬さはいかがですか？



11

問1 食事についてお尋ねします。

ウ：温度はいかがですか？

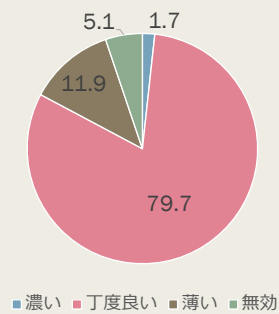


12

問1 食事についてお尋ねします。

エ：味付けはいかがですか？

	人数 (人)	割合 (%)
濃い	1	1.7
丁度良い	47	79.7
薄い	7	11.9
無効	3	5.1



13

食事の量について、81.4%の方が『普通』と回答されました。
また、『多い』・『少ない』と回答された方が合わせて13.6%いらっしゃいましたが、個別で食事量を変更しました。

食事の硬さについて、『普通』・『軟らかい』と回答された方が合わせ83.1%いらっしゃいました。『硬い』と回答された方は10.2%いらっしゃいました。『硬い』と回答された方のうち、特に硬い食材として肉とフキが挙げられました。
今後、食材の切裁サイズや調理方法等給食委託会社と調整するとともに、必要に応じて個別での食形態変更を検討したいと思います。

食事の温度について、89.8%の方が『丁度いい』と回答されました。
昨年実施した嗜好調査では、食事の温度について『丁度良い』と回答された方が77.6%であったため、昨年と比較して適温での食事提供ができていると考えられます。

食事の味付けについて、79.7%の方が『丁度良い』と回答されました。
『濃い』・『薄い』と回答された方が合わせて13.6%いらっしゃいました。

14

問2 今まででたお食事の中で美味しかったものと美味しくなかったものはなんですか？

◆美味しかったもの

握り寿司	9名	酢飯	ハンバーグ
全部	7名	カレーライス	納豆
煮物	3名	麺類	胡麻和え
おでん	2名	焼きそば	和え物
混ぜご飯	2名	ラーメン	ヨーグルト
米飯		パン粥	りんご
稲荷寿司		魚料理	

15

問2 今まででたお食事の中で美味しかったものと美味しくなかったものはなんですか？

◆美味しくなかったもの

カレーライス	2名	肉	炒め物
しょっぱいもの	2名	魚	葉物のお浸し
豚肉とキャベツの炒め物		刺身	じゃがいも
麻婆豆腐		青魚	グリーンピース
シチュー		野菜のあんかけ系	硬い物

16

問3 食べたい物、好きな食べ物は何ですか？

握り寿司 10名	ここでするもの何でも 2名	そうめん	肉の炒め物	鍋	胡麻和え
混ぜご飯 2名	赤飯	鍋焼きうどん	コロッケ	天ぷら	生野菜サラダ
刺身 2名	稲荷寿司	温かいうどん	鶏肉	和食	味噌
ステーキ 2名	酢飯	ナポリタン	ワンタン	納豆	梅干し
しゅうまい 2名	炊き込みご飯	とんかつ	煮魚	肉以外のもの	日本のもの
餃子 2名	かた焼きそば	焼肉	塩鮭	野菜炒め	ヨーグルト

17

今までのお食事の中で美味しかったものとして、『握り寿司』と回答された方が9名と一番多く、次いで『全部』と回答された方が7名、『煮物』と回答された方が3名いらっしゃいました。
昨年実施した嗜好調査でも、握り寿司が一番多く挙げられており、昨年に引き続き、ご利用者様に喜んでいただけていることが再確認できたため、今後も継続して参ります。

今までのお食事の中で美味しくなかったものは意見にばらつきがあり、個人の嗜好に左右される結果となりました。
都度聞き取りを通じて、個別対応していきたいと思います。

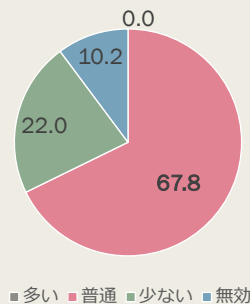
また、食べたい物・好きな食べ物として『握り寿司』と回答された方が10名と一番多く、次いで『混ぜご飯』、『刺身』、『ステーキ』、『しゅうまい』、『餃子』、『ここでするもの何でも』と回答された方が2名いらっしゃいました。
普段とは違う特別感のあるものが多く挙げられたため、特別食や行事食を充実させていきたいと思います。

昨年、嗜好調査で食べたい物で挙げられていたスバゲッティーの提供を嗜好調査後に開始したところ、ご利用者より好評いただいております。
今後もご利用者様の食べたい物・好きな物を献立に反映していきたいと考えております。

18

問4 おやつについてお尋ねします。**ア：量はいかがですか？**

	人数 (人)	割合 (%)
多い	0	0.0
普通	40	67.8
少ない	13	22.0
無効	6	10.2



19

問4 おやつについてお尋ねします。**イ：食べたいおやつ・好きなおやつはなんですか？**

甘い物	14名	チョコレート	3名	餅菓子	2名	アイス	シュークリーム
生果物	9名	しょっぱいもの	3名	歌舞伎揚げ		フルーツケーキ	ブルーン
和菓子	5名	饅頭	3名	黒糖		ピーナッツ	硬くないもの
せんべい	5名	お汁粉	2名	きんつば		カントリーマアム	辛い物
羊羹	5名	かりんとう	2名	みつ豆		プリン	
あんこ	4名	洋菓子	2名	干し芋		ヨーグルト	
ケーキ	4名	たい焼き	2名	ショートケーキ		カステラ	

20

おやつの量について『普通』と回答された方が67.8%、『少ない』と回答された方が22.0%であり、『多い』と回答された方はいらっしゃいませんでした。

食事と比較するとおやつの方が『量が少ない』と回答される方の割合が多く見られました。

『少ない』と回答された方につきましては移動販売での購入品やご家族様からの差し入れでまかなっている印象でした。

食べたいおやつ・好きなおやつについて、『甘い物』と回答されたが14名と一番多く、次いで『生果物』、『和菓子』、『せんべい』、『羊羹』という結果でした。

また、現在、旬の生果物は年4回提供しており、ご利用者様に好評いただいております。

今回の嗜好調査では食べたい果物としてみかん、りんご、いちご、柿、梨、スイカ、メロン、桃が挙げられました。

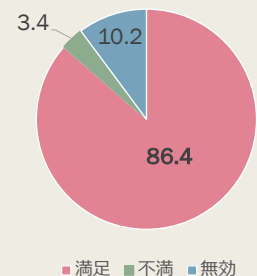
今後の生果物提供メニューに取り入れていきたいと思います。

昨年度より実施している特別おやつの提供も毎回好評いただいているため、引き続き来年度も継続し、おやつを楽しみにしていただけるように工夫して参ります。

21

問5 現在のお食事には満足していますか？

	人数 (人)	割合 (%)
満足	51	86.4
不満	2	3.4
無効	6	10.2



22

問6 その他お食事に対するご意見・ご要望があれば教えてください。**◆量について**

- ・ごはんがもう一口食べたい
- ・おかずが足りないから増やして欲しい
- ・おやつの量を増やして欲しい
- ・雑炊が少なかった
- ・昼食が少し量が多い

◆味付けについて

- ・味が薄いからもっと美味しくして欲しい
- ・味は薄いけど身体によくて年寄り向けで良い
- ・魚の煮付けが特に美味しい
- ・もう少し美味しく味付けて欲しい
- ・味が濃い方が好き
- ・汁物は味が濃い

23

問6 その他お食事に対するご意見・ご要望があれば教えてください。**◆硬さ**

- ・お肉が硬くて噛み切れないことがある 4名

◆温度について

- ・もっと温かいほうがいい

◆嗜好について

- ・ゼリーはあまり好きじゃない
- ・冷たい物は嫌い

24

問6 その他お食事に対するご意見・ご要望があれば教えてください。**◆その他**

- ・美味しくいただいています
- ・ここは皆がいるから皆に合わせています
- ・葉物のお浸しが乾燥していてビニールみたい
- ・もっと美味しいおやつをだして欲しい
- ・お茶の美味しいのが飲みたい

25

現在の食事について86.4%の方が『満足』、3.4%の方が『不満』と回答されました。

『不満』と回答された方の理由としては、「味付けをもっと美味しくしてほしい」「この食事は美味しくない」といったご意見がありました。味付けについては人それぞれ好みがあり、集団での食事提供では全員の嗜好に合わせるのは難しいですが、まだまだ改善の余地があります。今後も定期的に嗜好調査を実施し、ご利用者様のご意見・ご要望をもとに給食委託会社と食事内容を検討して、より多くの人に美味しいと感じてもらえるよう尽力して参ります。

26